

パルシステム生活協同組合連合会

活動概要

貢献しているSDGs目標 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 12, 13, 14, 15, 17

- グループ理念「心豊かな共生の社会を創ります」に基づき、2014年度から「『**ほんもの実感！**』**くらしづくりアクション**」をスタート。持続可能性を追求し、社会のあり方や環境影響、パートナーシップを考慮した商品や、生産から消費、廃棄までを含めた消費行動のことを「ほんもの」と表現し、社会に行動を呼びかけ。
- 具体的には、①商品や背景を理解し、**価格だけではない社会性や環境面の価値によって商品を選択**、②生産者やメーカーと直接触れ合える機会を増やし、**作り手の思いを共有**する、③作られた商品を**感謝の気持ちで無駄なく消費**し、食料廃棄を減らす等を推進。
- その多くが女性会員である生協組合員や職員等が、**民主的かつ実効的に運営**。

SDGs実施指針における実施原則(本アワード評価基準)

普遍性: 海外からの積極的な視察受け入れ、現地農業生産者の自立支援。

包摂性: ボードメンバーの半数、理事長の9割が女性。女性の社会参加を促進。各種災害時も産直産地との取引を継続。

参画型: 商品の学習会を約300会場で開催し、13万人の参加。組合員の声に基づく113の商品を供給。

統合性: 産直産地で、企画外となった産品を有効活用して、加工品を多数(現在405品目)開発。

透明性と説明責任: 生産者と消費者が産地で生産状況を確認する「公開確認会」を実施、定期的な情報発信。

▼市民団体による女性支援活動への助成金

